

グローバル・アピール2015

■国際看護師協会（会長ジュディス・シャミアン）と日本財団（会長笹川陽平）は次のとおり発表した。

ハンセン病は治る病気です。それにもかかわらず、この病気について、根拠のない社会通念や誤った認識がいまだに強く残っています。

社会に蔓延するスティグマにより、ハンセン病患者だけでなく、回復者、さらには彼らの家族までもが、社会から排除され、耐えがたいほどの苦難を強いられています。

保健医療専門職の中で世界最大数を占める私たち看護職は、偏見を持つことなく、人々の心身の苦しみを和らげ、すべての人に健康な生活をもたらすことに使命感をもって取り組んでいます。

私たちは、人々が公平に医療サービスを受けられること、そして、特にハンセン病のような誤解された病気に関する正しい知識を人々に伝えることの重要性を認識しています。

私たちは明確なメッセージを発信します。

ハンセン病は治る病気です。薬で菌は消滅します。早期発見、早期治療により、身体の障害を防ぐことができます。ハンセン病患者を隔離する医学的根拠はありません。

私たち看護職は、ハンセン病患者や回復者の治療やケアを受ける権利を支持します。

私たちはハンセン病の患者、回復者そしてその家族たちへの差別がなくなることを訴えます。

私たちは、ハンセン病の患者、回復者、そしてその家族たちが人としての権利を享受することに平等な機会を有し、そしてコミュニティーの一員として尊厳ある生活を営む権利を有することを支持します。

■以下のメンバーが登壇、または読み上げた。

クリスティ・レーン・イバルダローサ（クリオンハンセン病総合病院看護師、フィリピン）（読み上げ）

チアゴ・フローレス（ハンセン病NGO “MORHAN” ミナス・ジェライス州コーディネーター、ブラジル）（読み上げ）

ラモス・ホルタ 元東ティモール大統領

スリン・ピッサワン 元ASEAN事務総長

ジュディス・シャミアン 国際看護師協会会長

日本看護協会 坂本すが会長

森和男 全国ハンセン病療養所入所者協議会会長

笹川陽平 日本財団会長

(2015年1月27日、東京にて)